

- (1) ねらい 「羽島市のごみ処理施設建設地が決まるまでの経緯について、候補地の住民の反応や市民のニーズなどの視点から考察することを通して、住民同士の人権が対立している状況に気づき、建設地をよりよく決定していくための方法を考えることができる。
- (2) 評価規準 「ごみ処理施設建設までに時間がかかったのはなぜか」について考察し、自分の考えを表現している。
(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (6/7)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）				
導入	<p>1. 問題を把握する。 ・平成 18 年に羽島市下中町に次期ごみ処理施設の建設が決定したが、計画は予定通りにいかなかった。</p> <p>2. 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>羽島市のごみ処理施設建設まで時間がかかったのはなぜか。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみ処理場建設に関する経緯を年表にまとめ、大型提示装置で表示し、生徒が生活している地域の問題であり、自分にも関係のあることだと捉えることができるようにする。 </div>				
展開	<p>3. 学習課題に対する予想を考える。 ・反対した人がいるから ・建設してほしい人がいたから ・お金がなかったから ・羽島市に作る必要性や約束があったから</p> <p>4. ペアで立場を決め、(自分ならどちらの立場を支持するかを選び) 時間がかかったのはなぜかを考察する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">建設したい(建設に肯定的)</th> <th style="width: 50%;">建設してほしい(建設に否定的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>羽島市民(他地域) ・熱回収施設として、温水プールなどができれば、地域の新たなコミュニティもなるし、避難所としても効果を果たすのであれば、多くの市民にとってありがたい。</p> <p>市民税の納税者 ・今のように他県まで委託していると費用もかかるので、建設したほうが無駄がない。 ・現在、年間でごみ処理に使われている5億円を、県外への委託に使うのではなく、羽島市のために使ったほうが幸せに暮らせる。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>羽島市民(下中町) ・なぜ市内のこの場所でないといけないのかが明確でないし、土地を持っている人々の権利を奪うことになる。 昔から住み続けている人 ・町の景観が変わってしまうのは、ずっとこの場所に住んでいて、思い入れのある人からすると嫌なのではないか。 土地を持っている人 ・牛舎や畑などを所有している人からすると、そう簡単に土地を手放したくないし、先祖代々継いできた土地ならなおさらだ。 羽島市民(他地域) ・周囲に住んでいる人にも、不安なく幸せに暮らしていく権利がある。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	建設したい(建設に肯定的)	建設してほしい(建設に否定的)	<p>羽島市民(他地域) ・熱回収施設として、温水プールなどができれば、地域の新たなコミュニティもなるし、避難所としても効果を果たすのであれば、多くの市民にとってありがたい。</p> <p>市民税の納税者 ・今のように他県まで委託していると費用もかかるので、建設したほうが無駄がない。 ・現在、年間でごみ処理に使われている5億円を、県外への委託に使うのではなく、羽島市のために使ったほうが幸せに暮らせる。</p>	<p>羽島市民(下中町) ・なぜ市内のこの場所でないといけないのかが明確でないし、土地を持っている人々の権利を奪うことになる。 昔から住み続けている人 ・町の景観が変わってしまうのは、ずっとこの場所に住んでいて、思い入れのある人からすると嫌なのではないか。 土地を持っている人 ・牛舎や畑などを所有している人からすると、そう簡単に土地を手放したくないし、先祖代々継いできた土地ならなおさらだ。 羽島市民(他地域) ・周囲に住んでいる人にも、不安なく幸せに暮らしていく権利がある。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働学習支援ツールのシート背景色を「建設したい(青)」「建設してほしい(赤)」で表示し、全体が把握できるようにする。 それぞれの立場の理由を、次の視点で考え、協働学習支援ツールに書き込む。 <p><視点></p> <ul style="list-style-type: none"> 羽島市民(下中町) 羽島市民(他地域) 昔から住み続けている人 土地を持っている人 市民税の納税者 自分が下中町の住民なら </div>
建設したい(建設に肯定的)	建設してほしい(建設に否定的)					
<p>羽島市民(他地域) ・熱回収施設として、温水プールなどができれば、地域の新たなコミュニティもなるし、避難所としても効果を果たすのであれば、多くの市民にとってありがたい。</p> <p>市民税の納税者 ・今のように他県まで委託していると費用もかかるので、建設したほうが無駄がない。 ・現在、年間でごみ処理に使われている5億円を、県外への委託に使うのではなく、羽島市のために使ったほうが幸せに暮らせる。</p>	<p>羽島市民(下中町) ・なぜ市内のこの場所でないといけないのかが明確でないし、土地を持っている人々の権利を奪うことになる。 昔から住み続けている人 ・町の景観が変わってしまうのは、ずっとこの場所に住んでいて、思い入れのある人からすると嫌なのではないか。 土地を持っている人 ・牛舎や畑などを所有している人からすると、そう簡単に土地を手放したくないし、先祖代々継いできた土地ならなおさらだ。 羽島市民(他地域) ・周囲に住んでいる人にも、不安なく幸せに暮らしていく権利がある。</p>					
終末	<p>5. 自分の立場を固めるために、同じ立場の仲間や反対の立場の仲間を選んでペア交流を行い、考えを加えたり整理したりする。 ・同じ立場でも異なる視点から考察した仲間 ・反対の立場から考察した仲間 ・反対の立場でも考察した同じ視点から考察した仲間</p> <p>6. 全体交流 ・建設したい立場・・・市民生活の維持, 向上, 利便性 ・・・納税者として願う, 税の効率的, 効果的利用 ・建設してほしい立場・・・生活環境の悪化, 不安 ・・・財産価値の低下, 精神的支柱の喪失, 不公平感</p> <p>7. まとめ(次時の学習の方向性を示す) ・住民同士の権利が対立するごみ処理施設建設問題を適切に解決していくために、科学的根拠を丁寧に説明したり、適切な補償を協議したりすることが大切。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【ICT活用の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大型提示装置に、全員の考え(一覧)を表示し、それぞれ、立場や視点で意見交流ができるようにする </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>深めの質問 予定通りに計画を進めるためにはどんな配慮や補償が必要だったか?(留保条件) ・なぜこの場所に決定したのか、根拠を丁寧に説明する配慮が必要であった。 ・土地を持っている人には立退料を補償する必要がある。 ・ごみ処理代を無償にする。</p> </div>				